

# 無償資金協力 開発課題別の標準指標例

Ver.2

2013年2月

JICA評価部

## 目次

無償資金協力事業/開発課題別の標準的指標例について（ガイドライン） .....	1
1. 標準的指標例（基礎教育） .....	4
2. 標準的指標例（保健） .....	5
3. 標準的指標例（上水道） .....	9
4. 標準的指標例（村落給水/地下水） .....	13
5. 標準的指標例（運輸交通（道路、橋梁、陸運、航空、港湾）） .....	17
6. 標準的指標例（農業灌漑・土木） .....	23

## 無償資金協力事業/開発課題別の標準的指標例について（ガイドライン）

### I. 「標準的指標例」とは

JICAが開発途上国で実施する無償資金協力に関し、協力の効果を「客観的」かつ「定量的」に分かりやすく示すために、解決すべき開発課題や問題タイプに応じた標準的な運用・効果指標の参考例を、代表的な開発課題6分野（基礎教育、保健、上水道、村落給水/地下水、運輸交通（道路、橋梁、陸運、航空、港湾）、農業灌漑・土木）において整理したもの。

#### II. 本指標例の位置づけ

今般作成した標準的指標例は、開発課題体系図（※途上国における開発課題の構成を横断的に俯瞰して全体像を把握するために、各開発課題を「開発戦略目標」>「中間目標」>「中間サブ目標」にブレークダウンし「目的—手段」の関係をツリー形式で整理したもの）に基づいて指標の分類整理を行ったものであり、開発課題に紐づかせる方法で指標を整理した。これにより、個別案件がどの開発課題に対応するものなのかを案件計画時に意識できるようにした。本指標例は特に、案件形成、事前評価段階における定量的効果にかかる指標の設定時にレファレンスとして活用されることが期待される。

今般作成した指標例は、無償資金協力の指標検討の一助とすべく整理と例示のみを行なったものであり、効果の実現に至るための分析枠組みや手法を示したものではありませんことには十分留意のうえご活用頂きたい。案件の検討にあたっては、本指標例に記載された指標を機械的に使用するのではなく、個々の対象国の現状や開発課題に関する分析を踏まえた事業目標の設定を前提とし、そのうえで、目標に合致した適切な指標を、個別具体的な状況に応じて的確に設定して頂きたい。

なお、本指標を活用される関係各位からのご助言を頂きながら、今後は本指標のアップグレードや対象の拡大など、更なる整備を進めていく予定である。

### Ⅲ. 使用方法

本指標例の使用方法は、3頁を参照願いたい。

まず①「開発課題体系」に基づく問題タイプの特定を行い、その上で②問題解決に必要なインフラ種別を検討する。そして③効果の客観的かつ定量的に測定可能な標準指標例を参照し、適切な指標を設定する。その際には、④類似案件における指標も参照し、プロジェクトのイメージを把握する。

「運用指標」は、事業の運営状況を定量的に測る指標であり、「効果指標」は、事業の効果発現状況を定量的に測る指標である。すなわち、事業にて設備・施設等（アウトプット）が整備された結果として、①アウトプットが適切に運営・使用されているかを測定するものが運用指標であり、②それらが受益者や対象地域にもたらした効果を測定するものが効果指標である。

基本指標は案件の特性によらず一般的に必要性が認識されるもので、かつ、データ収集が可能と思われるものを選定している。一方、案件の特性、コンポーネントにより必要となることが想定されるものや、必要性はあるがデータ収集の困難性が高いもの等は補助指標とした。

なお、各案件における指標設定に当たっては、該当するすべての基本指標を設定する必要はなく、案件の特性に応じ取捨選択し、必要に応じ補助指標の活用も行う、また指標例以外に適切な指標があれば適宜追加する、等の運用、応用を行うことが望ましい。

以 上

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 10px;">① 「開発課題体系」に基づく問題タイプの特定</div> <div style="font-size: 24px; color: red;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 10px;">② 問題解決に必要なインフラ種別検討</div> <div style="font-size: 24px; color: red;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 10px;">③ 効果の客観的かつ定量的に測定可能な標準指標例を参照 (基本指標と補助指標)</div> <div style="font-size: 24px; color: red;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 10px;">④ 類似案件における指標を参照する。 (プロジェクトのイメージ)</div> </div>									
基礎教育の拡充	基礎教育への就学促進	教育サービスの(量的)拡大	学校新設・増設	<b>運用・効果指標</b> <b>基本</b> ①新たに就学可能となった生徒数 ②(教員宿舎建設を含む場合)教員定員充足率	<b>基本指標</b> ①計画人数(想定人数)と事後評価時の実績人数の両方を確認する。 ②定員(あるいは必要教員数)に対し、勤務している教員の割合の事前・事後比較。  <b>補助指標</b> ①当該地区の学齢生徒数と既存教室数から割り出した不足する教室が、新設・増設によりどの程度解消されたかを示す。地区データが整備されていることが前提。 ②当該地区の就学率と、格差のあった地区の就学率との比較、あるいは全国平均との比較など格差が減少したことを示す。EMIS(教育マネジメント情報システム)が整備されていない国では難しい。また就学率を算出するのに必要な人口統計については、EMISとは別途入手する必要がある。 ③通学距離は、通学時間に換算して検証可能。数値データを入手するのが難しい場合はインタビュー・質問票により確認。 ④定員に対する実際に就学している生徒の割合。定員に対して施策が最大限活用されているかをみる目的で使われる。 ⑤宿舎定員に対する利用教員の割合。宿舎が実際に教員に活用されているのか検証する(宿舎の効果はあったのか検証する)もの。	・モザンビークマプト州及びガザ州において、中学校4校58教室及び付帯施設を建設することにより、周辺住民の中等教育へのアクセスの改善を図る。  ・スワジランドの農村部において、中等学校を新設することにより、計画対象地域における中等教育の就学機会の拡大を図る。  ・ルーガ州およびカオラック州において、中学校を新設・増設することにより、基礎教育へのアクセスおよび学習環境の改善を図る。	モザンビーク	中学校建設計画	2009年
			教員宿舎の建設	<b>補助(*)</b> ①教室不足率(解消された不足教室数と割合) ②(地区の)就学率 ③通学距離(時間)の短縮割合 ④定員倍率/定員充足率 ⑤教員宿舎利用率			スワジランド	中等教育改善計画	2010年
	基礎教育の質の向上	教育施設の改善	学校施設の増設・改修/建替	<b>運用・効果指標</b> <b>基本</b> ①良好な環境で学べる生徒数 ②1教室当たりの生徒数 ③1クラス当たりの生徒数 ④生徒1人当たりの教室面積 ⑤教員1人当たりの生徒数	<b>基本指標</b> ①踏査校での直接確認+受益者の満足度 ②就学生徒数÷教室数。事前(現状)、計画値(目標値)、事後値(実績値)比較及び政府基準値との比較を行う(以下同様)。 ③学年別の就学生徒数÷クラスの数または各学校の実績。 ④教室標準面積×教室数÷就学生徒数。 ⑤生徒数÷教員数。 ※ただし、教育環境の改善により、より良い施設を有する無償資金協力で建設された学校に入学する児童数が増加し、上記基本指標②~⑤については改善が見られなくなるケースがある。事後評価段階でそのようなケースが確認された場合には、その要因を確認するとともに、可能であれば対象校のみならず学区内での当該指標の改善推移を確認する。  <b>補助指標</b> ①定員に対する実際に就学している生徒の割合。定員に対して施策が最大限活用されているかをみる目的で使われる。 ②定性的な情報から判断 ③事前・事後の照度(ルクス)比較または適切な水準との比較。踏査校での目視+受益者の満足度。	・本事業は、ブノンベン市内の7校の小学校における校舎の増築又は建替え、並びに教育用家具の整備を行うことにより、生徒の学習環境の改善を図る。  ・南西部6県及び中央東部3県の小学校において、教室等を増設することにより、学習環境の改善を図る。  ・ノーザン州およびセントラル州にある対象校において、教育施設および教育家具の整備を行うことにより基礎教育環境の改善を図る。	カンボジア	第3次ブノンベ ン市小学校建設 計画	2009年
				<b>補助</b> ①定員倍率/定員充足率 ②学習環境に対する満足度 ③風通し、採光・室内照度など			ブルキナファ ソ	第5次小学校建設 計画	2012年
	基礎教育の質の向上	教員の増員とその意識・知識・技能の向上	教員養成校の新設・増設・改修/建替	<b>運用・効果指標</b> <b>基本</b> ①新たに養成された年間教員数 ②(増設・改修/建替の場合)良好な環境で学べる教員数	<b>基本指標</b> ①事前・事後比較 ②踏査校での直接確認+受益者の満足度  <b>補助指標</b> ①有資格教員数は、教員養成校による養成だけでなく、既存教員の資格更新によっても増えるケースがあることに留意。	・ジブチ市において、新規初等・中等教員養成校を建設することによって、初等及び前期中等教育の新規教員養成の拡充を図る。  ・サヘル地方において、初等教育教員養成校を新設することにより、教員不足の解消を図る。  ・ジョグー市において、教員養成のための施設が整備されることにより、ENIジョグー校における学習環境が改善され、基準を満たす質の高い教育を受けた教員が育成される。	ジブチ	初等・中等教員 養成校建設計画	2009年
				<b>補助</b> ①当該校が輩出する有資格教員数			ブルキナファ ソ	サヘル地方初等 教員養成校建設 計画	2009年
							セネガル	ルーガ州および カオラック州中 学校建設計画	2012年
							ベナン	ジョグー初等教 員養成機関能力 計画	2011年

(\*)補助指標は、特定のデータが入手可能であること等、一定の条件が満たされる場合のみに設定すべき指標であることに留意。

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
基礎教育への就学促進	教育サービスの(量的)拡大	学校新設・増設 教員宿舎の建設	運用・効果指標	<b>基本</b> ①新たに就学可能となった生徒数 ②(教員宿舎建設を含む場合) 教員定員充足率	<b>基本指標</b> ①計画人数(想定人数)と事後評価時の実績人数の両方を確認する。 ②定員(あるいは必要教員数)に対し、勤務している教員の割合の事前・事後比較。  <b>補助指標</b> ①当該地区の学齢生徒数と既存教室数から割り出した不足する教室が、新設・増設によりどの程度解消されたのかを示す。地区データが整備されていることが前提。 ②当該地区の就学率と、格差のあった地区の就学率との比較、あるいは全国平均との比較など格差が減少したことを示す。EMIS(教育マネジメント情報システム)が整備されていない国では難しい。また就学率を算出するのに必要な人口統計については、EMISとは別途入手する必要がある。 ③通学距離は、通学時間に換算して検証可能。数値データを入力するのが難しい場合はインタビュー・質問票により確認。 ④定員に対する実際に就学している生徒の割合。定員に対して施策が最大限活用されているかをみる目的で使われる。 ⑤宿舎定員に対する利用教員の割合。宿舎が実際に教員に活用されているのか検証する(宿舎の効果はあったのか検証する)もの。	・モザンビークマプト州及びガザ州において、中学校4校58教室及び付帯施設を建設することにより、周辺住民の中等教育へのアクセスの改善を図る。  ・スワジランドの農村部において、中等学校を新設することにより、計画対象地域における中等教育の就学機会の拡大を図る。	モザンビーク	中学校建設計画	2009年
			<b>補助(*)</b> ①教室不足率(解消された不足教室数と割合) ②(地区の)就学率 ③通学距離(時間)の短縮割合 ④定員倍率/定員充足率 ⑤教員宿舎利用率	・ルーガ州およびカオラック州において、中学校を新設・増設することにより、基礎教育へのアクセスおよび学習環境の改善を図る。	スワジランド	中等教育改善計画	2010年		
基礎教育の拡充	基礎教育の質の向上	教育施設の改善	運用・効果指標	<b>基本</b> ①良好な環境で学べる生徒数 ②1教室当たりの生徒数 ③1クラス当たりの生徒数 ④生徒1人当たりの教室面積 ⑤教員1人当たりの生徒数	<b>基本指標</b> ①踏査校での直接確認+受益者の満足度 ②就学生徒数÷教室数。事前(現状)、計画値(目標値)、事後値(実績値)比較及び政府基準値との比較を行う(以下同様)。 ③学年別の就学生徒数÷クラスの数または各学校の実績。 ④教室標準面積×教室数÷就学生徒数。 ⑤生徒数÷教員数。 ※ただし、教育環境の改善により、より良い施設を有する無償資金協力で建設された学校に入学する児童数が増加し、上記基本指標②～⑤については改善が見られなくなるケースがある。事後評価段階でそのようなケースが確認された場合には、その要因を確認するとともに、可能であれば対象校のみならず学区内での当該指標の改善推移を確認する。	・本事業は、ブノンベン市内の7校の小学校における校舎の増築又は建替え、並びに教育用家具の整備を行うことにより、生徒の学習環境の改善を図る。  ・南西部6県及び中央東部3県の小学校において、教室等を増設することにより、学習環境の改善を図る。	カンボジア	第3次ブノンベ ン市小学校建設計 画	2009年
			<b>補助</b> ①定員倍率/定員充足率 ②学習環境に対する満足度 ③風通し、採光・室内照度など	・ノーザン州およびセントラル州にある対象校において、教育施設および教育家具の整備を行うことにより基礎教育環境の改善を図る。  ・ルーガ州およびカオラック州において、中学校を新設・増設することにより、基礎教育へのアクセスおよび学習環境の改善を図る。	ブルキナファ ン	第5次小学校建設 計画	2012年		
教育格差の是正	男女格差の是正	ジェンダー・センシティブな学校教育の実現	運用・効果指標	<b>基本</b> ①新たに養成された年間教員数 ②(増設・改修/建替の場合)良好な環境で学べる教員数	<b>基本指標</b> ①事前・事後比較 ②踏査校での直接確認+受益者の満足度  <b>補助指標</b> ①有資格教員数は、教員養成校による養成だけでなく、既存教員の資格更新によっても増えるケースがあることに留意。	・ジブチ市において、新規初等・中等教員養成校を建設することによって、初等及び前期中等教育の新規教員養成の拡充を図る。  ・サヘル地方において、初等教育教員養成校を新設することにより、教員不足の解消を図る。	ジブチ	初等・中等教員 養成校建設計画	2009年
			<b>補助</b> ①当該校が輩出する有資格教員数	・ジョグー市において、教員養成のための施設が整備されることにより、ENIジョグー校における学習環境が改善され、基準を満たす質の高い教育を受けた教員が育成される。	ブルキナファ ン	サヘル地方初等 教員養成校建設 計画	2009年		
教育格差の是正	都市-農村間の地域格差の是正	農村部における教育サービスの(量的)拡大	運用・効果指標	<b>基本</b> ①新たに就学可能となった生徒のうち女子の数と割合(男女比率) ②(地区別)男女別就学率 ③(トイレ、衛生環境に対する)男女別生徒満足度	<b>基本指標</b> ①事前と事後評価時の実績人数(あるいは推移)を確認。 ②当該地区の学齢生徒数と既存教室数から割り出した不足する教室が、新設・増設によりどの程度解消されたのかを示す。男女別就学率の推移。 ③トイレの使用状況(日常的に使用しているか否か)および満足度。	・計画対象地域の中等学校(CDSS)において、教育施設の増設と家具・機材の整備を行うことにより、同地域における中等教育へのアクセスおよび就学環境の改善を図る。  上記案件に限らず、付帯施設としてトイレを建設する案件では、男女別棟とする等、女兒に配慮している。	マラウイ	中等学校改善計 画	2010年
			中間目標のサブ目標「教育サービスの(量的)拡大」の指標と同じ						

(\*)補助指標は、特定のデータが入手可能であること等、一定の条件が満たされる場合のみに設定すべき指標であることに留意。

分野	開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 <small>(プロジェクトのイメージ)</small>	国名	案件名	実施年度	
母子保健	母子の健康状態の改善	妊産婦の健康の改善	安全な出産	産婦人科施設・機材	運用指標	<b>基本</b> 帝王切開の件数/年 婦人科手術の件数/年 <b>補助</b> 対象地域における施設分娩率(保健/病院統計の存在が前提) ハイリスク分娩実施数(吸引、鉗子等)/年 産前産後の検診受診者数/年 ハイリスク分娩のリファーマ数	左の運用指標5項目は、分母の設定が難しいため、率で出すことは一般的に困難。人口増加率を加味しつつも、手術件数や検診数の増加≒ハイリスク出産への対応(&予防)数の増加とみなすことが、ほぼ可能。対象地域=病院がカバーするエリア、市など。ただし妊産婦死亡率(対10万)は、実数が少ないため比較しにくい場合が多い。	・国立産婦人科病院において、高度産婦人科診療機材及び下位病院に対する産婦人科診療技術指導に必要となる研修機材を調達することにより、NHOGのトップリファラル病院としての診療機能及び下位の省病院に対する教育研修機能の強化を図る。 ・大学病院の産科・新生児サービス部門に関連する医療機材の整備により、病院の技術レベル・実習の受入能力の向上を通じた第三次レファラル病院としての機能強化を図る。	ベトナム	国立産婦人科病院機材整備計画	2009年
					効果指標	<b>補助</b> 対象地域における妊産婦死亡率(保健統計の存在が前提)			コンゴ民	キンシャサ大学病院機材整備計画	2010年
		施設における新生児と乳幼児のケア	新生児室/小児科の施設、機材	運用指標	<b>基本</b> 新生児治療室の患者数 小児科での手術件数 小児科外来患者数	適切な医療従事者の配置が前提となる。 本来、一次医療施設で対応可能な外来患者が増え、三次病院が適切に機能しなくなる場合もありうる点に留意。	大学病院の新生児サービス部門に関連する医療機材の整備により、病院の技術レベル・実習の受入能力の向上を通じた第三次レファラル病院としての機能強化を図る。	コンゴ民	キンシャサ大学病院機材整備計画	2010年	
				効果指標	<b>補助</b> 対象地域における乳児死亡率(保健統計の存在が前提) 対象地域における5歳未満児死亡率(保健統計の存在が前提)			マダガスカル	予防接種拡大計画	2003年	
		乳幼児の健康の改善	乳幼児の感染症予防	予防接種のためのワクチンおよびコールドチェーン機材(冷蔵庫、コールドボックス、ワクチンキャリア等)	運用指標	<b>基本</b> 中央保管庫(コールドorフリーザー室)の保管容量(m <sup>2</sup> ) 地方保管室容量(m <sup>2</sup> ) 対象地域のコールドチェーン普及率(%) <b>補助</b> 1歳未満児予防接種率(平均値) 対象地域における3種混合ワクチンの予防接種率(%) 中央から地方へのワクチン運搬回数(回/年) ワクチン廃棄率(廃棄数÷調達数)	機材整備のみでは接種率は上がらないが、整備により、適切な温度管理の元でワクチンの保管・運搬がなされ、廃棄数が下がることが直接的な成果となりうる。予防接種は人員体制、実施予算の有無に加え、地域の文化的要素(ジェンダーなど)に左右される部分が大きく、機材整備のみでは接種率は上がらないが、これらが揃えば罹患率、死亡率の指標も有効となりうる。	・使用不能ないし老朽化した冷蔵庫、コールドボックス、ワクチンキャリアを更新し、これまで適切なコールドチェーン機材がなかった郡保健局および基礎保健センターに冷蔵庫を配備することを目的とする。 ・保健施設のコールドチェーン機材が整備を行うことにより、定期予防接種が提供できるようになる保健施設の増加(予防接種サービスへのアクセス向上)を図る。	ウガンダ	予防接種体制整備計画	2010年
					効果指標	<b>基本</b> 対象地域における5歳未満児の予防接種対象感染症の罹患率(%) <b>補助</b> 対象地域における乳児死亡率 対象地域における5歳未満児死亡率					

分野	開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度						
感染症対策	HIV/AIDS対策	HIV感染予防	検査体制の強化および検査へのアクセス向上	HIV迅速検査キット	運用指標	基本 対象地域におけるHIV検査受検者数(万人)	検査キットが適切に配備され、検査が行われることにより、HIV陽性の者が適切なケアにアクセスできるとともに、啓発活動により新たな感染予防につながりうる	ケニア国全域において、HIV迅速検査キットの調達・供給を通じて、HIVカウンセリング・検査体制を強化することにより、HIVカウンセリング・検査受検件数の増加を図る。	ケニア	HIV・AIDS対策計画	2009年					
					効果指標	補助 対象地域におけるAIDS治療患者数(人/年) HIV新規感染者数(人/年)(保健統計の存在が前提)										
		AIDS治療	医療機関におけるAIDS治療の体制強化	関係機材( CD4カウンター等)の設置(病院機材の一つ)	運用指標	基本 CD4カウンター稼働数(回/年)						治療は、ARV(抗レトロウイルス薬)が適切にストックされていることが前提。	CD4カウンターの設置により、AIDS発症患者が迅速にケア・治療を受けることが出来るようになる。	コンゴ民	キンシャサ大学病院機材整備計画	2010年
					効果指標	基本 対象施設における患者治療数(人/年)										
	結核対策	DOTS実施能力の向上	ロジスティック能力の強化	抗結核薬および結核検査用試薬類	運用指標	基本 直接監視下による短期化学療法戦略(DOTS)のカバー率 DOTSプログラムで治療が可能な成人新規患者数(人) DOTSプログラムで治療が可能な成人再発・再治療患者数(人) 新規塗沫陽性発見件数及び再発患者登録数	DOTS実施には抗結核薬、検査用試薬等の供給、技術者の存在が前提。また、新規患者(陽性発見数)、再発登録数などはDOTSの適切な実施により増加する場合が多い。	・ミャンマー全土において、結核対策に必要な抗結核薬(成人用)を配布することにより、結核の治療状況の改善を図る。  ・結核の診断・治療体制が住民に効果的に提供されていない貧困地域に対して、結核の診断と研修に必要な機材及び治療に必要な抗結核薬を供与することにより、患者の早期発見及び治療を進め、当該地域における結核感染状況の改善を図る。	ミャンマー	結核対策薬品機材整備計画	2009年					
					効果指標	基本 DOTSによる治療率										
結核対策	DOTS実施能力の向上	ロジスティック能力の強化	抗結核薬および結核検査用試薬類	運用指標	基本 直接監視下による短期化学療法戦略(DOTS)のカバー率 DOTSプログラムで治療が可能な成人新規患者数(人) DOTSプログラムで治療が可能な成人再発・再治療患者数(人) 新規塗沫陽性発見件数及び再発患者登録数	DOTS実施には抗結核薬、検査用試薬等の供給、技術者の存在が前提。また、新規患者(陽性発見数)、再発登録数などはDOTSの適切な実施により増加する場合が多い。						・結核の診断・治療体制が住民に効果的に提供されていない貧困地域に対して、結核の診断と研修に必要な機材及び治療に必要な抗結核薬を供与することにより、患者の早期発見及び治療を進め、当該地域における結核感染状況の改善を図る。	中華人民共和国	第三次貧困地域結核抑制計画	2003年	
				効果指標	基本 DOTSによる治療率											

分野	開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度	
感染症対策	結核対策	Beyond DOTS 実施能力の向上	多剤耐性結核対策能力(診断、研究、治療)の向上	結核病棟整備、結核培養室の設置	運用指標	基本 画像検査数/年 ラボにおける培養数 補助 病床稼働率 (%)	培養件数の増加→ラボにおける診断能力の向上につながる。	アフリカ ニスタン	感染症病院建設計画	2010年	
					効果指標	基本 対象病院における治療患者数					
	マラリア対策	マラリア感染予防	感染経路・感染源対策の強化	長期残効型蚊帳薬剤キット	運用指標	基本 各家庭の殺虫剤処理済蚊帳 (ITN) 所有数、所有率 (%) 5歳未満児および妊婦のITN使用数/年	各家庭へのITN配布が前提だが、各家庭に二帳以上なければ妊産婦と乳幼児がITNを使用できない場合も多い。	ザンビア	マラリア対策計画	2006年	
					効果指標	基本 対象地域におけるマラリア罹患数および死亡数/年					
		マラリア対策	迅速診断および治療体制の強化	検査・診断能力の向上	迅速診断キット 顕微鏡及び関連機材	運用指標	基本 一次医療施設の外来患者数/年 一次医療施設におけるマラリア迅速診断実施数/年 一次医療施設における顕微鏡診断実施数/年 補助 マラリア感染者数 (増加) /年 運用指標 (補助) : レファラル患者数/年	地域住民にとってアクセスの良い一次医療施設での迅速診断の実施により迅速治療へとつなげることが出来る。 ただしこれにより患者数、感染者数が増える傾向にある。	ニジェール	マラリア対策計画	2008年
						効果指標	基本 各医療施設における外来患者数/年 治療患者数 (治療薬使用数)				
マラリア対策	適切な治療のための体制強化		治療薬 医薬品運搬車両	運用指標	基本 各医療施設における外来患者数/年 治療患者数 (治療薬使用数)	死亡率低下のためには迅速治療が必須であり、これには医薬品へのアクセス向上がカギ。これにより治療数が増加する。	ミャンマー	マラリア対策計画	2008年		
				効果指標	基本 対象地域のマラリア死亡率						
保健システム	保健人材の量と質の改善	質の高い医療従事者の養成	パラメディカルスタッフ (看護、助産、臨床検査、放射線技師等) の養成の量と質の向上	人材養成校の施設・機材	運用指標	基本 生徒一人当たりの教室の床面積 補助 教員一人当たりの学生数 生徒一人当たりの教材数	人材校の施設・機材整備案件は、老朽化あるいは手狭になった学校の増改築と実習機材の整備が一般的であり、直接的な効果は学習環境の向上である。これにより質の高い教育を受けられる前提条件が整う。	ニカラグア	看護教育機材整備計画	2004年	
					効果指標	基本 質の高い教育を受ける保健人材数 (人/年) 補助 対象学校卒業生の国家資格合格率					
保健システム	保健人材の量と質の改善	質の高い医療従事者の養成	パラメディカルスタッフ (看護、助産、臨床検査、放射線技師等) の養成の量と質の向上	人材養成校の施設・機材	運用指標	基本 生徒一人当たりの教室の床面積 補助 教員一人当たりの学生数 生徒一人当たりの教材数	人材校の施設・機材整備案件は、老朽化あるいは手狭になった学校の増改築と実習機材の整備が一般的であり、直接的な効果は学習環境の向上である。これにより質の高い教育を受けられる前提条件が整う。	コンゴ (民)	キンシャサ保健人材センター整備計画	2011年	
					効果指標	基本 質の高い教育を受ける保健人材数 (人/年) 補助 対象学校卒業生の国家資格合格率					

分野	開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度	
保健システム	保健人材の量と質の改善	質の高い医療従事者の養成	新任および現任医療従事者の技術力の向上	医療施設における実習設備と機材	運用指標	基本 医療施設における学生の実習回数 (回/年) 医療施設における現任医療従事者の実習数 (人/年) 医療施設における実習生の受入数 (人/年)	病院等の実習環境 (分娩室や手術室の見学スペース、実習用機材など) の整備により、実習生の受入数を増加することが出来る。	大学病院の医療機材の整備により、医療サービスの向上および実習生の受入能力の向上を通じた第三次レファラル病院としての機能強化を図る。	ザンビア	ザンビア大学付属教育病院医療機材整備計画	2009年
					運用指標	基本 病床数 (床) 検査件数 (件/年) 手術件数 (件/年) 外来患者数 (人/年) 入院患者数 (件/年) 補助 医療機関までのアクセス時間 下位医療施設からリファーされた患者数 (人/年) * 上位医療施設の混雑 (待ち時間) の減少	病床数や手術室の増加と、老朽化・故障した機材の更新により、検査・治療体制が改善される。 * 二次病院整備の結果、一次医療施設からのリファー患者の受け入れおよび直接三次病院の外来を訪問していた患者の受け入れにより、近隣の三次病院の混雑緩和につながる。	本計画の実施により、オーロラ州内で帝王切開や虫垂炎等の手術、各種検査や集中治療など、これまで対応できなかった医療サービスを提供することが可能となる。	フィリピン	オーロラ記念病院改善計画	2009年
					運用指標	基本 対象地域の住民の医療施設までのアクセス時間 対象地域における一次医療施設の診療圏半径の平均 (km) 外来患者 (検診、予防接種含む) の受入数 * 補助 対象地域における住民一人当たりの年間受診数 (回) *	* 一次医療施設に医療人材と医薬品が配備されていることが前提。 妊産婦死亡、5歳未満児死亡の減少のためには、高次レベル病院への緊急搬送手段があることが必須な場合が多い。	本事業は、アッパーウエスト州においてCHPS (community Based Health Planning and Services) コンパウンド (ヘルスポスト) の建設並びにそれ付帯する機材を供与することにより、母子保健にかかるサービスの拡充を図る。	ガーナ	アッパーウエスト州地域保健施設整備計画	2012年
保健サービスへのアクセス向上	一次医療サービスの質と量の向上	コミ開による一次保健施設の整備	効果指標	基本 対象地域における妊産婦死亡率、5歳未満児死亡率 (保健統計の存在が前提)							
			運用指標	基本 対象地域、対象病院での救急車による患者受入れ数 補助 患者からの救急車出動依頼件数 *	住民の救急車の認知度が高まり、緊急搬送時に適切に使用されるようになる。受け入れ病院側のデータ測定と救急車の出動件数の両方から見る。 * 救急ステーション毎にカウント。	・本事業は、シリア国の救急医療サービスの強化を目的として、対象6県に対し救急車、救急車据付機材と無線機材等を調達するものである。 ・地方にある地域・地区病院、首都の総合病院と救急搬送センターにおいて、救急医療機材の整備を行うことにより、早期診断治療を可能にし、救急救命率の向上を図る。	シリア	救急医療整備計画	2008年		
		救急医療体制の強化	救急時の搬送体制および受入態勢の向上	救急車整備病院の救急部門の機材、施設				アルバニア	救急医療機材改善計画	2009年	

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例		指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
効率性と安全・安定性を考慮した水供給	水利用の効率化	上水道における水利用効率化（無収水の削減）	上水道施設の リハビリ（老朽化等による漏水の増加に対する対策）	運用指標	<b>基本</b> 給水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水人口 (人) 無収水率 (%) <b>補助</b> 漏水率 (%) 給水時間 (時間/日)	●給水量 (m <sup>3</sup> /日) : 一日最大給水量=(年間の一日給水量のうち最大のもの) 一日平均給水量=(年間総給水量)÷(年間日数) (毎年ベース) ●給水人口 (人) : 給水を受けている人口 (毎年ベース) ●無収水率 (%) : (無収水量; 料金請求の対象とならなかった水量)÷(給水量)×100 ●漏水率 (%) : (漏水量)÷(給水量)×100 (毎年ベース) ●給水時間 (時間/日) : 1日当たりの給水時間 (時間/日) で表現することが多いが、給水状況によっては週あたりの給水時間数で示すこともある ●一人当たり給水量(L/人・日) : 一人一日最大給水量=(一日最大給水量)÷(給水人口) 一人一日平均給水量=(一日平均給水量)÷(給水人口) (毎年ベース)	・ヨルダン南部地域タフィーラ県を対象として、送配水システムの再構築（配水池の建設及び配水管網更新及び配水区の設定、減圧施設の設置、配水モニタリングシステムの設置、ポンプ送水の適正化）を行い、無収水量を低減し、増加した使用水量を公平に分配し、対象地域の給水状況改善を図る。	ヨルダン	南部地域給水改善計画	2011年
				効果指標	<b>補助</b> 一人当たり給水量(L/人・日)					
安全な水の持続的供給	水資源の確保		貯留・取水施設の整備	運用指標	<b>基本</b> 開発水量 (m <sup>3</sup> /秒) 取水量 (m <sup>3</sup> /秒またはm <sup>3</sup> /日) <b>補助</b> 給水人口 (人)	●開発水量 (m <sup>3</sup> /秒) : 貯水池計画において、施設によって正常流量を確保した上で新たに取水ができる水量 ●取水量 (m <sup>3</sup> /秒またはm <sup>3</sup> /日) : (年間取水量)÷(年間秒数または年間日数) ●給水人口 (人) : 給水を受けている人口 (毎年ベース) ●一人当たり給水量(L/人・日) : 一人一日最大給水量=(一日最大給水量)÷(給水人口) 一人一日平均給水量=(一日平均給水量)÷(給水人口) (毎年ベース)	・インドネシアの東部地域は、降水量が少なく水資源開発が遅れていることから、東ヌサテンガラ地域において、少ない水を有効に貯水しながら農村に生活用水を給水し、さらに可能な場合に畜産及び灌漑用水を給水すべく、5カ所のダム貯水池及び関連施設（パイプライン、灌漑用水路等）の建設を行うもの。	インドネシア	東ヌサテンガラ地域貯水池開発計画	1995年
				効果指標	<b>補助</b> 一人当たり給水量(L/人・日)					
	都市における給水へのアクセス改善		上水道施設	運用指標	<b>基本</b> 給水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水人口 (人) 接続栓数 (栓) <b>補助</b> 取水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水時間 (時間/日) 施設能力 (m <sup>3</sup> /日、ℓ/秒、等) (浄水場の施設容量、等)	●給水量 (m <sup>3</sup> /日) : 一日最大給水量=(年間の一日給水量のうち最大のもの) 一日平均給水量=(年間総給水量)÷(年間日数) (毎年ベース) ●給水人口 (人) : 給水を受けている人口 (毎年ベース) ●接続栓数 (栓) : 給水を受けている件数 (毎年ベース) ●取水量 (M3/日) : 最大取水量=(年間の一日取水量のうち最大のもの) 平均取水量=(年間総取水量)÷(年間日数) (毎年ベース)	・ハイバル・バフトゥーンハ州アボタバード県アボタバード市（ナワンシェール地区を含む）と周辺4地区において、表流水自然流下給水システムの建設、地下水システムの整備及び実施機関技術者への維持管理技術指導等を行うことにより、安全かつ安定的な上水道サービスの提供を図る。  ・本計画は、エンブ市及びその周辺地域において、給水関連施設の改修・建設を行うことにより、当該地域における給水人口の拡大を図る。また、水資源に限られるケニア国において利用可能な水資源を開発し、安全な水へのアクセス向上を目標とする。	パキスタン	アボタバード市上水道整備計画	2010年
								ケニア	エンブ市及び周辺地域給水システム改善計画	2010年

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
安全な水の持続的供給	都市における給水へのアクセス改善		(貯水、取水、導水、浄水、送・配水施設)の新設・拡張	<b>効果指標</b> <b>基本</b> 水道普及率 (%) <b>補助</b> 一人当たり給水量 (L/人・日) 断水被害人口 (人) 給水制限の改善 (日/年)	●給水時間 (時間/日) : 1日当たりの給水時間 (時間/日) で表現することが多いが、給水状況によっては週あたりの給水時間数で示すこともある ●施設能力 (m <sup>3</sup> /日、L/秒、等) : 浄水場の施設容量、等 ●水道普及率 (%) : (給水人口) ÷ (区域内人口) × 100 (毎年ベース) ●一人当たり給水量 (L/人・日) : 一人一日最大給水量 = (一日最大給水量) ÷ (給水人口) 一人一日平均給水量 = (一日平均給水量) ÷ (給水人口) (毎年ベース) ●断水被害人口 (人) : 断水区域給水人口 ●給水制限の改善 (日/年) : 年間給水制限日数の年ごとの比較				

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度			
安全な水の持続的供給	都市における給水へのアクセス改善		上水道施設の リハビリ (①) 老朽化等による 施設稼働率の 低下に対する 対策)	運用指標	<b>基本</b> 給水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水人口 (人) 施設利用率 (%) <b>補助</b> 漏水率 (%) 取水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水時間 (時間/日) 施設能力 (m <sup>3</sup> /日、ℓ/秒、等) (浄水場の施設容量、等)	●給水量 (m <sup>3</sup> /日) : 一日最大給水量 = (年間の一日給水量のうち最大のもの) ÷ (年間日数) ●一日平均給水量 = (年間総給水量) ÷ (年間日数) ●給水人口 (人) : 給水を受けている人口 (毎年ベース) ●施設利用率 (%) : 施設利用率 (最大) = (一日最大給水量) ÷ (施設能力) × 100 ●施設利用率 (平均) = (一日平均給水量) ÷ (施設能力) × 100 ●漏水率 (%) : (漏水量) ÷ (給水量) × 100 (毎年ベース) ●取水量 (M3/日) : 最大取水量 = (年間の一日取水量のうち最大のもの) ●平均取水量 = (年間総取水量) ÷ (年間日数) (毎年ベース) ●給水時間 (時間) : 1日当たりの給水時間 (時間/日) で表現することが多いが、給水状況によっては週あたりの給水時間数で示すこともある ●施設能力 (m <sup>3</sup> /日、ℓ/秒、等) : 浄水場の施設容量、等 ●水道普及率 (%) : (給水人口) ÷ (区域内人口) × 100 (毎年ベース) ●一人当たり給水量 (L/人・日) : 一人一日最大給水量 = (一日最大給水量) ÷ (給水人口) ●一人一日平均給水量 = (一日平均給水量) ÷ (給水人口) (毎年ベース) ●断水被害人口 (人) : 断水区域給水人口 ●給水制限の改善 (日/年) : 年間給水制限日数の年ごとの比較	・ボドゴリツァ市において送配水施設を更新するとともに、施設稼働・送配水状況のモニタリングシステムの導入を行なうことにより、同市民民に対する安定的な給水サービスの実現を図る。なお、本事業は社会・経済インフラの整備プログラムに位置づけられる。 ・ンドラ市において、既存上水道施設の改修及び拡張を行うことにより、市内の給水状況の改善を図る。	モンテネグロ	ボドゴリツァ市上水道システム緊急修復計画	2010年		
				効果指標	<b>補助</b> 水道普及率 (%) 一人当たり給水量 (L/人・日) 断水被害人口 (人) 給水制限の改善 (日間/週、日/年、等)			ザンビア	ンドラ市上水道改善計画	2011年		
				運用指標	<b>基本</b> 給水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水人口 (人) 無収水率 (%) <b>補助</b> 漏水率 (%) 給水時間 (時間/日)			●給水量 (m <sup>3</sup> /日) : 一日最大給水量 = (年間の一日給水量のうち最大のもの) ÷ (年間日数) ●一日平均給水量 = (年間総給水量) ÷ (年間日数) (毎年ベース) ●給水人口 (人) : 給水を受けている人口 (毎年ベース) ●無収水率 (%) : (無収水量; 料金請求の対象とならなかった水量) ÷ (給水量) × 100 ●漏水率 (%) : (漏水量) ÷ (給水量) × 100 (毎年ベース) ●給水時間 (時間/日) : 1日当たりの給水時間 (時間/日) で表現することが多いが、給水状況によっては週あたりの給水時間数で示すこともある ●一人当たり給水量 (L/人・日) : 一人一日最大給水量 = (一日最大給水量) ÷ (給水人口) ●一人一日平均給水量 = (一日平均給水量) ÷ (給水人口) (毎年ベース)	・ヨルダン南部地域タフィーラ県を対象として、送配水システムの再構築 (配水池の建設及び配水管網更新及び配水区の設定、減圧施設の設置、配水モニタリングシステムの設置、ポンプ送水の適正化) を行い、無収水量を低減し、増加した使用水量を公平に分配し、対象地域の給水状況改善を図る。	ヨルダン	南部地域給水改善計画	2011年
				効果指標	<b>補助</b> 一人当たり給水量 (L/人・日)							
			中間目標「水利用の効率化」に同じ									

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
安全な水の持続的供給	都市における給水へのアクセス改善		上水道施設の リハビリ (③) 配水システムの改善による水圧や水量の改善 (配水効率の改善)	<b>運用指標</b> <b>基本</b> 給水圧不適正率 (%) 給水量 (m <sup>3</sup> /日) <b>補助</b> 無収水率 (%) 漏水率 (%) 給水時間 (時間/日)	●給水圧不適正率 (%) : {適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数 ÷ (圧力測定箇所総数 × 年間日数)} × 100 ●給水量 (m <sup>3</sup> /日) : 一日最大給水量 = (年間の一日給水量のうち最大のもの) ÷ (年間日数) ●無収水率 (%) : (無収水量 ; 料金請求の対象とならなかった水量) ÷ (給水量) × 100 ●漏水率 (%) : (漏水量) ÷ (給水量) × 100 (毎年ベース) ●給水時間 (時間/日) : 1日当たりの給水時間 (時間/日) で表現することが多いが、給水状況によっては週あたりの給水時間数で示すこともある ●一人当たり給水量 (L/人・日) : 一人一日最大給水量 = (一日最大給水量) ÷ (給水人口) ●断水被害人口 (人) : 断水区域給水人口 ●給水制限の改善 (日/年) : 年間給水制限日数の年ごとの比較	・ヨルダン南部地域タフィーラ県を対象として、送配水システムの再構築 (配水池の建設及び配水管網更新及び配水区の設定、減圧施設の設置、配水モニタリングシステムの設置、ポンプ送水の適正化) を行い、無収水量を低減し、増加した使用水量を公平に分配し、対象地域の給水状況改善を図る。	ヨルダン	南部地域給水改善計画	2011年
			<b>効果指標</b> <b>補助</b> 一人当たり給水量 (L/人・日) 断水被害人口 (人) 給水制限の改善 (日間/週、日/年、等)	●浄水の水質 : 水質項目に係る数値 毎年ベース (季節等によって変動が考えられる場合は季節ベース等)			・コンセプション市及びピラール市において、取水施設の更新並びに高濁度の原水の処理に適した急速濾過方式の浄水施設の新設により、水質の改善、給水量の増加及び住民の安全な水へのアクセスの改善を図る。	パラグアイ	コンセプション市及びピラール市給水システム改善計画
			上水道施設の リハビリ (④) 浄水水質の改善)	<b>効果指標</b> <b>基本</b> 浄水の水質 (色度 (度)、濁度 (NTU)、鉄 (mg/L)、マンガン (mg/L)、等)	<b>運用指標</b> <b>基本</b> ポンプ効率 (%) <b>補助</b> 電力原単位 (消費電力量kWh/ポンプ吐出m <sup>3</sup> ) 給水量 (m <sup>3</sup> /日)	●ポンプ効率 (%) : (水動力) ÷ (軸動力) × 100 ●電力原単位 (消費電力量kWh/ポンプ吐出m <sup>3</sup> ) : (年間消費電力量) ÷ (年間ポンプ吐出量) ●給水量 (m <sup>3</sup> /日) : 一日最大給水量 = (年間の一日給水量のうち最大のもの) ÷ (年間日数) ●維持管理費の削減 (円/年) : (電力料金) × (削減された年間電力使用量) + ポンプ修理費用等削減額 ●CO <sub>2</sub> の削減 (トン/年) : (電力のCO <sub>2</sub> 排出係数 (トン-CO <sub>2</sub> /kWh) × (削減された年間電力使用量 (kWh/年)) ●電力使用量の削減 (千kWh/年) : (実勢動力) × (運転時間) - (定格動力) × (運転時間) × (1 - 動力削減率 × 安全率) ●電気料金削減額 : (電力料金) × (削減された年間電力使用量)	・ザルカ県の対象地区においてポンプ設備、送配水管機材の調達、据付・敷設とポンプ設備の運転・維持管理指導および送水システムの運営指導にかかる技術支援を行うことにより、送配水に係る消費エネルギー消費削減を通じた二酸化炭素の排出量の削減 (緩和策) と同時に、対象地域での送配水の安定化 (適応策) を図る。	ヨルダン	上水道エネルギー効率改善計画
上水道施設の リハビリ (⑤) エネルギー効率の向上 (ポンプの交換等)	<b>効果指標</b> <b>基本</b> 維持管理費の削減 (円/年) <b>補助</b> CO <sub>2</sub> の削減 (トン/年) 電力使用量の削減 (千kWh/年) 電気料金削減額								

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例（プロジェクトのイメージ）	国名	案件名	実施年度
安全な水の持続的供給	村落部における給水へのアクセス改善	井戸およびハンドポンプ建設（レベル1）	運用指標	基本 給水人口（人） 補助 給水量（m <sup>3</sup> /日） 給水時間（時間）	給水人口（定義）：当該施設により新たに安全な水が供給される人口。機材供与案件においては当該機材を先方が利用して掘削・建設した井戸により、新たに安全な水が供給される人口。 留意点等：以下の例のように国によって定義が異なることがあり、厳密には違う国の案件を比較することが難しい。①給水原単位が設定してあり、揚水量により井戸1本当たりの給水人口を厳密にカウントする場合、②1村落に建設した井戸で当該村落の人口を賄うとしてカウントする場合（500人～1000人）、①揚水量に拘らず、井戸一本当たりの給水人口が設定してあり、成功井の本数によりカウントする場合、等。 データ入手方法：社会条件調査、掘削時の井戸のデータ等。	・ジブチ南部のアルサビエ県、ディキル県、アルタ県において井戸を含む給水施設の建設、および給水施設の維持管理や井戸の掘削に必要な資機材の供与を行うことにより、安全な水へのアクセス人口の増加とアクセス率の改善、生活用水・生計向上のための水を手に入れる人口の増加を図る。	ジブチ	南部地方給水計画	2010年
				効果指標	基本 水因性疾患の減少 給水率（%） 施設稼働率 補助 水汲み時間の軽減 安定供給 水汲みに要する距離 給水状況改善人口 就学率 女性の就業率の増加	給水量（定義）：当該施設による給水される水量。 留意点等：新しい施設が出来れば給水量の増加は見込めるが、施設の稼働時間により給水量は規定される。従って、オペレーターが朝・晩1時間づつ給水する場合と、午前中一杯給水する場合とで給水量は異なり、指標としてはあまり適切ではない。また従量制ではない場合、実際にどのくらい販売したかを正確に計ることは難しい。 データ入手方法：レベル1の場合は聞き取り、レベル2の場合は、配水量や運転時間から計算。	・大マチャコス県及び大マクエニにおける村落給水施設（レベル1及びレベル2）の建設を行うことにより、対象地域住民の安全な水へのアクセス改善を図る。	ケニア	第二次地方給水計画
			運用指標	基本 給水人口（人） 給水量（m <sup>3</sup> /日） 補助 給水時間（時間）	給水時間（定義）：当該施設が給水する時間。 留意点等：給水時間はオペレーションの設定にもよるが、一般的には給水施設の建設/改修により、従来より長時間の給水が可能となると考えられる。但しレベル1については24時間稼働可能とも考えられるため、この限りではない。 データ入手方法：運転記録、（動力がディーゼルの場合）ガソリン使用量等。	・水普及率の低い地方村落（5州19サイト）において、給水施設の整備等を行うことにより、対象村落住民へ安全な水の供給を図る。	イエメン	地方給水整備計画	2010年
			運用指標	基本 給水人口（人） 給水量（m <sup>3</sup> /日） 補助 給水時間（時間）	水因性疾患の減少（定義）：対象地域における水因性疾患の罹患患者数。 留意点等：供給される水と水因性疾患の数の関係は、疫学的に厳密に証明できないが、安全な水の供給の効果としては最も期待されるもの。 データ入手方法：インタビュー調査によるのが適当。従来からある保健所や病院のデータであれば問題ないが、新設の場合、それによりカウントされる患者数が逆に増える可能性がある。 給水率（定義）：新規に（または、改修された施設により）安全な水の給水を受ける人口／対象地域の人口 留意点等：指標として一般的で有効だが、改修案件に適用するのは難しいことが多い。 データ入手方法：インベントリー調査等	・ティグライ州の10郡において、給水施設を建設することにより、給水人口の増加、安全な水の持続的供給を図る。 ・大マチャコス県及び大マクエニにおける村落給水施設（レベル1及びレベル2）の建設を行うことにより、対象地域住民の安全な水へのアクセス改善を図る。	エチオピア ケニア	ティグライ州地方給水計画 第二次地方給水計画	2010年 2011年

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
安全な水の持続的供給	村落部における給水へのアクセス改善		井戸、ポンプ、共同栓、高架水槽建設 (レベル2)	<b>効果指標</b> <b>基本</b> 水因性疾患の減少 給水率 (%) 施設稼働率 <b>補助</b> 水汲み時間の軽減 安定供給 水汲みに要する距離 給水状況改善人口 就学率 女性の就業率の増加	施設稼働率 (定義) : 稼働している給水施設数 / 対象地域内の給水施設数 留意点等 : 改修案件には有効な指標。 データ入手方法 : 給水施設のインベントリー調査等。  水汲み時間の軽減 (定義) : (旧来の給水ポイントと住居からの平均距離) - (整備する給水ポイントと住居の平均距離) 留意点等 : 1) 計算の元になる平均距離の算出については、「水汲みに要する距離」の項を参照。 2) 水汲み時間を直接推定する方法として、Time Allocation Studies という社会調査手法があるが、かなりマニアック。時間も労力もかかる。 ・無作為抽出した世帯の女性 (主に水汲みを行っている人) たちが、無作為あるいは一定間隔をおいた時間帯にしている行動を (調査員が観察して) 記録する、という手法。 3) 数値化はできないが、定性的なデータが良いのでは。 ・無作為抽出した世帯の女性に、水汲み労働とその時間の軽減について、選択式の回答を得るとともに、「声」を収集する。 → こうした「声」は、広報用資料では使える。データの「非科学性」批判については、調査対象を無作為抽出することで、対応。 データ入手方法 : 上記留意点等参照。				
				<b>運用指標</b> <b>基本</b> 給水人口 (人) <b>補助</b> 給水量 (m <sup>3</sup> /日) 給水時間 (時間)	一人当たり給水量 (定義) : 配水量 / 給水人口 留意点等 : 特にレベル2の場合は有効な指標。 データ入手方法 : 配水データ等。  安定供給 (定義) : 雨季・乾季問わず安定した給水が可能かどうか。 留意点等 : 乾季が厳しく、表流水や浅井戸を主な水源としていた場合は、有効性が顕著。但し従来あまり指標としては注目されて来なかった。 データ入手方法 : 水理地質調査、揚水量のデータ、インタビュー等。  水汲みに要する距離 (定義) : 住民の住居から安全な水を手に入れるポイントまでの距離 留意点等 : 1) 平均距離を出すのに、二つの方法が考えられるが、どちらもハードルあり。	・ムチンジ県ムカンダ地区及びカスング県サンテ地区のマーケットセンターにおいて給水施設の建設と運営・維持管理体制の整備を行うとともに、ムチンジ県においてハンドポンプ付き深井戸300箇所の修繕と代替井戸の建設、運営・維持管理体制の整備及び井戸修繕機材の調達を行い、住民に安全で清浄な水を安定的に供給することを目的とする。	マラウイ	中西部地方給水計画	未実施

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
安全な水の持続的供給	村落部における給水へのアクセス改善		井戸およびハンドポンプの修復 (レベル1 修復)	<b>効果指標</b> <b>基本</b> 水因性疾患の減少 給水率 (%) 施設稼働率 <b>補助</b> 水汲み時間の軽減 安定供給 水汲みに要する距離 給水状況改善人口 就学率 女性の就業率の増加	i) 整備する給水施設を中心に、利用者対象にヒアリング調査を行う方法。 ・利用者の家庭のキャッチメントエリアを同定。しかし、家庭までの実際の距離や時間を、一般の人が言えることは稀。 ii) 世帯のサンプリングを行い、世帯に対するサーベイ調査を実施する方法。 ・GPSを利用して、給水ポイントまでの直線距離は算出可能。 (ただし、実際の歩行距離の算出は難。アカデミックな目的で実際に歩いて計測する場合はあり)。 ・ベースライン調査と比較して、より遠い家庭からも整備された給水ポイントの利用を求めて水汲みに行く可能性があり、「平均距離」は伸びることがあり得る。 ・世帯を中心に考えると、利用する水源が季節により変化する場合が多い。 (ベースラインと完成後で調査をする時期が異なると、問題ありの可能性。) データ入手方法：留意点等参照。				
			井戸、ポンプ、共同栓、高架水槽の修復 (レベル2 修復)	<b>運用指標</b> <b>基本</b> 給水人口 (人) 給水量 (m <sup>3</sup> /日) <b>補助</b> 給水時間 (時間)	給水状況改善人口 (定義)：案件実施前と比べて、水量、水質、給水時間、水料金等の改善を享受できる人口数。 留意点等：特に改修案件の指標として有効だが、何をもって改善とするかは検討が必要。 例：老朽化はしていたが、給水は継続されていた施設は、改修したとしても水量、水質、給水時間等に変化がなければ効果はゼロ。	・タンバクンダ州 (15サイト)、マタム州 (2サイト)、ティエス州 (1サイト)、ルーガ州 (1サイト) において既存給水施設の改修及び拡張を実施することにより、対象サイトの2019年計画人口に対して、持続的に安全な水が供給される。	セネガル	タンバクンダ州給水施設整備計画	未実施
				<b>効果指標</b> <b>基本</b> 水因性疾患の減少 給水率 (%) 施設稼働率 <b>補助</b> 水汲み時間の軽減 安定供給 水汲みに要する距離 給水状況改善人口 就学率 女性の就業率の増加					
				<b>運用指標</b> <b>基本</b> リグ掘削本数 (年) 給水人口 (人) 給水量 (m <sup>3</sup> /日) <b>補助</b> 給水時間 (時間)	就学率 (定義)：当該地域で学校に通う子供の割合 留意点等：・このデータについても、世銀Guide (別添p16) にいくつか例が掲載されている。 ・他の調査例でも、子供が就学しているか (enrollment) と、出席日数・欠席日数を (rate of school absenteeism or attendance) を分けて考える必要がある模様。 ・学校の欠席日数も、季節変動あり。乾季の方が遠くまで水汲みに行かなければならない場合。また、欠席理由が農繁期の手伝いの可能性等も当然ある。	・本事業は、中央乾燥地において、国境地域・少数民族開発省 開発局 (DDA) が新規水源開発に必要とする深井戸建設にかかる資機材を調達することにより、通年利用可能な水の確保を図る。 ・本事業は、ボリビア北部のベニ県及びバンド県において井戸掘削のための機材や資材を供与するもの。	ミャンマー	中央乾燥地村落給水計画	2011年
							ボリビア	ベニ県及びバンド県村落飲料水供給計画	未実施

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
安全な水の持続的供給	村落部における給水へのアクセス改善		井戸掘削関連 機材 (リグ)	<b>効果指標</b> <b>基本</b> 水因性疾患の減少 給水率 (%) <b>補助</b> 水汲み時間の軽減 安定供給 水汲みに要する距離 給水状況改善人口 就学率 女性の就業率の増加	データ入手方法：留意点等参照。  女性の就業率の増加 (定義)：当該地域で安定した職業に就く女性の割合の変化 留意点等：・ “Gender and social Inclusion” と “Income/consumption” の指標として先述の世銀Guide (別添p16) にいくつか例が掲載されている。一方で、このガイド中にも、“We are aware of no evaluation that demonstrate the impacts of WSS programs on poverty, including income, consumption levels, or gender and ethnic inclusion. (p6~7)” とある。 ・ 水汲み労働が軽減しても、そもそも就業の機会のない地域が多い可能性あり。むしろ、女性の perception を定性的にデータ収集する方が良いのでは。 データ入手方法：留意点等参照。				

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
国際化・地域化への対応	国際的なヒトとモノの移動の円滑化	国際幹線交通ネットワーク（道路・鉄道・空港・港湾）の整備	幹線道路及び橋梁（国際）	<b>運用・効果指標</b> 基本 年平均日交通量（台／日、台／24H）	年平均日交通量（台／日、台／12H）：特定の地点、全体区間の代表地点又は距離加重平均による年平均交通量。台数は、大型車、小型車台数などの単純合計又は小型車換算値（PCU: Passenger Car Unit）を用いる。時間単位は基本的に日（24H）とするが、12時間としても可。  所要時間の短縮（時間）：所要時間実測調査による。  平均走行速度の向上（Km/H）：上記所要時間と整備前後の距離により計算する。	・サンタフェ地区において、コスタリカとの国境沿いに位置するサンファン川に橋梁を新設することにより、国際物流の活性化を図る。	ニカラグア	サンタフェ橋建設計画	2010年
				<b>運用指標</b> 補助 舗装耐荷重（軸重）の増加（t）		・本事業は、国道1号線のメコン河渡河地点（ネアックルン）において、新橋を建設することにより、より安全で円滑な交通の確保を図る。  ・本事業は、国道1号線（プノンベン～ネアックルン区間）約56kmの道路改修が実施されることにより、プノンベン～ホーチミン間の人及び物の流通の改善を図る。  ・セネガルとマリ首都を結ぶ南回廊のうち、内陸国であるマリ側の橋梁を整備することにより、南回廊沿道地域の円滑な交通を実現させるとともに、二国間さらには近隣諸国との交通・貿易の促進を図る。	カンボジア	ネアックルン橋梁建設計画	2010年
				<b>効果指標</b> 補助 通行可能最大車両トン数の増加 大型車等通行可能車両の増加 乗客・貨物輸送量（人・キロ、トン・キロあるいは交通量と同じく断面の輸送量としてトン／年） 所要時間の短縮（時間） 走行費の節減（円（及び現地通貨）／年） 平均走行速度の向上（Km/H） 自然災害による年間通行不能日数の低減（日／年）	自然災害による年間通行不能日数の低減（日／年）：道路管理者作成の統計による。	・経済成長を推進する投資促進、生産力増強、輸出振興に向けた経済インフラの整備を目標とする「道路・橋梁整備プログラム」において、大西洋輸送回廊及び東西回廊上の3橋梁を架け替えることにより、円滑で安全な国内・国際物流の活性化を図る。  ・本プロジェクトは、隣国のタイ国とベトナム国を結ぶ重要路線である「東西経済回廊」の一部を成し、ラオスの経済活動の促進において重要な役割を担う国道9号線の損傷区画の舗装構造や道路構造を改修することにより、東西経済回廊のより円滑な通行の実現を図ることを目的とする。  ・エチオピア国道1号線上、崩落による影響が最も大きいアワシュ橋（132.4m）の架け替えにより、国際物流路線の機能強化、地域住民の運輸・交通の向上を図る。  ・北部ルンピ地区において、主要幹線道路上のルクル橋を架け替えることにより、円滑な交通の確保、交通上のボトルネックの解消を図る。	ニカラグア	マナグア-エルラマ間橋梁架け替え計画	2011年
						・本プロジェクトは、隣国のタイ国とベトナム国を結ぶ重要路線である「東西経済回廊」の一部を成し、ラオスの経済活動の促進において重要な役割を担う国道9号線の損傷区画の舗装構造や道路構造を改修することにより、東西経済回廊のより円滑な通行の実現を図ることを目的とする。	ラオス	国道九号線（メコン地域東西経済回廊）整備計画	2011年
						・エチオピア国道1号線上、崩落による影響が最も大きいアワシュ橋（132.4m）の架け替えにより、国際物流路線の機能強化、地域住民の運輸・交通の向上を図る。	エチオピア	国道1号線アワシュ橋架け替え計画	2011年
						・北部ルンピ地区において、主要幹線道路上のルクル橋を架け替えることにより、円滑な交通の確保、交通上のボトルネックの解消を図る。	マラウイ	国道1号線南ルクル橋架け替え計画	2009年

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例		指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
国際化・地域化への対応	国際的なヒトとモノの移動の円滑化	安全・保安対策の強化(航空・港湾・海上保安)	港湾・空港・道路交通における安全管理(不法侵入者対策、搭乗者・荷物検査)の向上、航空管制の質向上等	運用指標	基本 国際基準に合致した検査体制の実施(被検査者数・被検査品数の拡大、監視・保安区域の拡大、事故・事案数の減少等)		・「アフガニスタンの復興に不可欠な外国からの人と物資の流通が確保される」ことを上位目標として、カブール国際空港における旅客サービスの向上の為に、同空港の機材整備を行うことを目的とする。	アフガニスタン	カブール国際空港機材整備計画	2003年
							・ニノイ・アキノ国際空港を離発着する航空機の安全及び同空港の効率的な運用を確保するため、1984年に整備され老朽化が著しく故障が頻発する状態となっていた同空港のアプローチレーダー管制施設の機能・信頼性の回復を図る。	フィリピン	ニノイ・アキノ国際空港アプローチレーダー管制施設改善計画	2000年
							・本事業は、1997年に完工したカトマンズ国際空港整備計画において設置したレーダーの効果高め、安全な航空管制業務を遂行するために、同計画実施以前より運営されていた無線設備の更新や気象観測施設の新設などの航空管制機材の整備を行ったものである。	ネパール	トリブバン国際空港近代化プログラムにおける航空管制設備改善計画	1999年
国土の調和ある発展(全国交通)	道路輸送の改善	幹線道路の整備	幹線道路及び橋梁(国内)	運用・効果指標	基本 年平均日交通量(台/日、台/24H)		・ムトワラ州において、マサシーマンガツカ間道路のうち、3期対象区間である37.4kmから終点にかけての22.5km区間の道路整備を実施することにより、安全で円滑な交通の確保を図る。	タンザニア	マサシーマンガツカ間道路整備計画(3/3期)	2009年
				運用指標	補助 舗装耐荷重(軸重)の増加(t)		・エチオピアにおいて、アディスアベバとスーダンを結ぶ国際幹線道路である国道3号線の未舗装区間を整備することにより、同国道の交通の円滑化を図る。	エチオピア	第四次幹線道路改修計画	2011年
				効果指標	補助 通行可能最大車両トン数の増加 大型車交通量の増加(台/日) 乗客・貨物輸送量(人・キロあるいはトン・年) 所要時間の短縮(時間) 走行費の節減(円(及び現地通貨)/年) 平均走行速度の向上(Km/H) 自然災害による年間通行不能日数の低減(日/年)		・本事業は、国道一号線(プノンペン～ネアックルン区間)約56kmの道路改修が実施されることによって、プノンペン～ホーチミン間の人及び物の流通の改善を図る。	カンボジア	国道一号線改修計画(第3期)	2009年
		・北部ルンピ地区において、主要幹線道路上のルクル橋を架け替えることにより、円滑な交通の確保、交通上のボトルネックの解消を図る。	マラウイ	国道一号線南ルクル橋架け替え計画	2009年					
		・東部州において、中部州から東部州を結ぶ国道5号線上の中小橋梁および東部州内の国道15号線上パニチャンケニ・コーズウェイおよび橋梁の架け替えを行うことにより、東部州へのアクセス改善を図り、もって紛争で影響を受けた人々への平和の配当に寄与するものである。	スリランカ	東部州5橋架け替え計画	2010年					

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例		指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
国土の調和ある発展 (全国交通)	道路輸送の改善	維持管理の強化	道路維持管理	運用指標	基本 稼働可能な建設機械台数の増 (台) 道路整備 (補修) 等延長距離 (km/年) 補助 機械の修理実績 (回/年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノクム道路建機センターにおいて道路建機の修理・整備のための設備機材を更新・増強することによる、道路建機の修理・整備能力の回復を行うことにより、GCRB が保有する道路建機の稼働率の向上を図る。</li> <li>・本事業はインククリ州及びチュイ州において、道路維持管理のための機材を適切に配置し、道路維持管理体制を強化することにより、域内交通及び地域住民の交通アクセスの安定化を図り、もって地域の人的交流・物流促進及び経済社会活動の活性化に寄与するもの。</li> </ul>	イエメン  キルギス	ノクム道路建機センター機能強化計画  インククリ州・チュイ州道路維持管理機材整備計画	2010年  2010年
				効果指標	補助 年間維持管理費用の軽減 (円 (及び現地通貨))					
	海上輸送の改善	港湾施設整備	港湾ターミナル整備	運用・効果指標	基本 貨物量 (トン/年) ①コンテナ貨物量 (トン及びTEU/年) ②ばら貨物量 (トン/年) ③一般貨物量 (トン/年) 旅客数 (人/年) 補助 入港船舶の平均滞船時間・沖待ち時間等 (時間) 荷役効率の向上・荷役機械の稼働率 船舶最大載荷重量トン数	貨物量=コンテナ貨物量+ばら貨物量+一般貨物量 ①コンテナ貨物量 (トン及びTEU/年) ②ばら貨物量 (トン/年) ③一般貨物量 (トン/年) 旅客数 (人/年) 補助 入港船舶の平均滞船時間・沖待ち時間等 (時間) 荷役効率の向上・荷役機械の稼働率 船舶最大載荷重量トン数 貨物量全体もしくは①～③の各項目を採用するかどうかは、事業内容に応じて判断する。調達機材としてガントリークレーンがあれば①が、穀物サイロ、オイルタンクがあれば②が有効な指標となる。 TEUは20フィート・コンテナ換算量。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東ティモールのオエクシ県において、マハタ地区の既存棧橋の改修を行うことにより、安全かつ効率的な旅客の乗降、貨物の荷役を図り、もって首都ディリの海上輸送拡大を通じたオエクシ県の経済活性化、東ティモール国内の地域間格差を正に寄与する。</li> <li>・ベシオ港の施設・機材の整備による港湾機能の強化を行い、荷役作業の効率化・安全化及び出入港船舶の航行安全性の向上を図る。</li> </ul>	東ティモール  キリバス	オエクシ港緊急改修計画  キリバス・ベシオ港拡張計画	2010年  2011年
					運用・効果指標					
	空港輸送の改善	空港施設の整備	空港施設	運用・効果指標	基本 旅客数 (人) 貨物取扱量 (トン) 航空機発着回数 (回) 航空交通量 (機)	旅客数 (人) : 国際線、国内線に分けて把握する。 ・年計、ピーク月、ピーク日 (1) 出発旅客数 (外国人・内国人別) (2) 到着旅客数 (外国人・内国人別) (3) トランジット (外国人・内国人別) に分けて把握することが望ましい。  航空交通量 (機) : 国際線 (オーバーフライトとそれ以外に分ける)、国内線に分けて把握する。 ・年計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のバーミヤン空港において、滑走路舗装、駐機場、旅客ターミナルビルの新設、及び消防車、除雪車、航空無線等航空機の機材・施設を整備することにより、空港利用者の安全性と利便性の向上を図る。本事業は、我が国対アフガニスタン援助重点分野であるインフラ整備分野に位置づけられ、アフガニスタン政府国家優先プログラムの一つである「国家地域間資源回廊イニシアティブ」に位置づけられる。</li> </ul>	アフガニスタン	バーミヤン空港改修計画	2011年
					運用指標					

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度			
国土の調和ある発展 (全国交通)	空港輸送の改善	航行援助施設整備	航行援助施設	運用・効果指標	基本 航空機発着回数 (回)	航空機発着回数 (回) : 国際線、国内線に分けて把握する。 ・年計、ピーク月、ピーク日 ・定期、不定期 (商業フライト) に分けて把握する。	・カブール国際空港において、駐機場舗装の改修及び駐機場の拡張を行うことにより、航空機運航の安全性の向上と旅客数増加への対応を図る。本事業は、カブール首都圏開発プログラムに位置づけられる。  ・カブール国際空港において、カブール国際空港の誘導路及びエプロンを改修/整備することにより、同空港における発着便数・旅客数の増加及び航空機の運航の安全性向上を図る。  ・マラウイ国カムズ国際空港において、老朽化した航空保安施設・関連機材の更新を行うことにより、ICAO からの勧告基準を満たし、航空機運航の安全性及び効率性向上を図る。	アフガニスタン	カブール国際空港駐機場改修計画	2011年		
				運用指標	補助 駐機可能機数の増加 (機) 国際空港内の航空灯火提供範囲			滑走路 (%) 誘導路 (%) 駐機場 (%)	アフガニスタン	カブール国際空港誘導路改修計画	2010年	
				効果指標	補助 誘導路及び駐機場における事故件数の低減				マラウイ	カムズ国際空港航空航法システム改修計画	2010年	
	複数モード間に共通する施策の強化	交通安全対策	交通安全施設の整備等	交通安全施設	効果指標	基本 交通事故発生件数・発生率 (件/万台・Km、事故件数、死傷者数、円 (及び現地通貨))	交安機関が作成している交通事故統計により算出。  事故1件当りの人損額、物損額が設定されている場合は貨幣タームを用いても良い。					
					災害対策	(道路施設及び橋梁) 法面防護、耐震性の向上等	効果指標	基本 自然災害による年間通行不能日数の低減 (日/年) 補助 通行可能最大車両トン数の増加 大型車等通行可能車両の増加 (台/日)		ニカラグア	サンタフェ橋建設計画	2010年
							効果指標	基本 自然災害による年間通行不能日数の低減 (日/年) 補助 通行可能最大車両トン数の増加 大型車等通行可能車両の増加 (台/日)		ラオス	国道九号線 (メコン地域東西経済回廊) 整備計画	2011年
				効果指標	基本 自然災害による年間通行不能日数の低減 (日/年) 補助 通行可能最大車両トン数の増加 大型車等通行可能車両の増加 (台/日)		スリランカ	東部州5橋架け替え計画	2010年			

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
国土の調和ある発展 (全国交通)	複数モード間に共通する施策の強化	災害対策	(道路施設及び橋梁) 法面防護、耐震性の向上等			<p>配当に寄与するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エチオピア国道一号線上、崩落による影響が最も大きいアワシユ橋(132.4m)の架け替えにより、国際物流路線の機能強化、地域住民の運輸・交通の向上を図る。</li> <li>・ニアス島において、地震により被害を受け構造的に危険な状態にある6橋(同島の最大の町グヌンシトリと第2の町テルクダラムを結ぶ島内随一の幹線道路である州道75号線上などに位置する)の架け替えを行うことにより、安全で効率的な交通の確保を図る。</li> </ul>	エチオピア	国道一号線アワシユ橋架け替え計画	2011年
							インドネシア	ニアス島橋梁復旧計画	2009年
都市の持続的な発展と生活水準向上(都市交通)	都市交通輸送の改善	主要道路・交差点・橋梁等の容量の拡大	道路施設及び橋梁(都市)	運用・効果指標	基本 年平均日交通量(台/日、台/24H)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブジュンブラ市内の道路網を整備することにより、市内において安全でスムーズな交通を確保するとともに、渋滞緩和による輸送コストの削減を図る。</li> <li>・キンシャサ市において、ポワ・ルー通りの補修・改修を行うことにより、道路網の改善を図る。</li> <li>・「マ国」最大の商業都市であるブランタイヤ市内にて幹線道路のボトルネックとなっている区間の整備改修と拡幅を行うことにより、輸送時間の短縮と渋滞の解消、年間の維持管理費用の削減を図る。</li> </ul>	ブルンディ	ブジュンブラ市内交通網整備計画	2010年
				運用指標	補助 舗装耐荷重(軸重)の増加(t)		コンゴ民主共和国	キンシャサ市ポワ・ルー通り補修及び改修計画(第二次)	2010年
				効果指標	補助 乗客・貨物輸送量(人・キロあるいはトン・年) 所要時間の短縮(時間) 走行費の節減(円(及び現地通貨)/年) 平均走行速度の向上(Km/H) 渋滞長の短縮 交差点待ち時間の短縮		マラウイ	ブランタイヤ市道路網整備計画(第2期)	2010年
公共交通サービスの改善	バスサービスの改善	バス整備	運用・効果指標	基本 バス輸送力(万人・キロ/日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルンジ全土において、公共交通機関としてのバス及び必要機材の供与により、同国内及び近隣国への公共交通の輸送力が改善することを図る。</li> <li>・老朽化の激しいバス会社の市内路線バスを更新し、バスサービスの向上を図るとともに、公共バスの輸送力向上を図る。</li> </ul>	ブルンディ	公共輸送改善計画	2009年	
			運用指標	基本 バスの運行可能台数 バス運行本数(本/日) バスの運行路線数 バスの運行距離(km)		ラオス人民民主共和国	首都ビエンチャン市公共バス交通改善計画	2010年	

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例	指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
地方の生活水準の向上と地域振興 (地方交通)	インフラの改善	シビルミニマムを達成する基本インフラ施設の整備	地方道及び橋梁 (国内)	運用・効果指標	基本 年平均日交通量 (台/日、台/12H)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本プロジェクトはマンムナイにバティカロア・ラグーンを渡る橋梁を新たに建設することにより、交通・物流の円滑化を図り、もって災害復興及び洪水対策に寄与するとともに、東部州の社会経済発展の促進、復興における平和の定着の象徴として貢献することを目的とする。</li> <li>・スンバワ南リング道路区において、技術上難易度の高い4橋の建設を行うことにより、スンバワ島の道路網整備を図る。</li> <li>・本事業では、ネパール中部のシンズリ道路沿線5郡において、郡内の地方道路11路線にあって雨期の増水によって長期間交通を遮断してしまう28箇所程度の渡河地点に吊橋、トラス橋、鉄筋コンクリート橋並びに連続ボックス橋を建設することにより、年間を通じた交通の確保を図る。</li> <li>・ニアス島において、地震により被害を受け構造的に危険な状態にある6橋 (同島の最大の町グヌンシトリと第2の町テルクダラムを結ぶ島内随一の幹線道路である州道75号線上などに位置する) の架け替えを行うことにより、安全で効率的な交通の確保を図る。</li> </ul>	スリランカ	マンムナイ橋梁建設計画	2011年
				運用指標	補助 舗装耐荷重 (軸重) の増加 (t)			インドネシア	第2次西ヌサトゥンガラ州橋梁建設計画
				効果指標	基本 所要時間の短縮 (時間) 補助 乗客・貨物輸送量 (人・キロあるいはトン・年) 走行費の節減 (円 (及び現地通貨) /年) 平均走行速度の向上 (Km/H) 自然災害による年間通行不能日数の低減 (日/年) 社会インフラ (学校、保健センター等) へのアクセス改善 (人/日)		ネパール	コミュニティ交通改善計画	2009年
				効果指標	基本 自然災害による年間通行不能日数の低減 (日/年)		スリランカ	マンムナイ橋梁建設計画	2011年
		安全性・信頼性の向上	道路及び橋梁 (安全性)				インドネシア	ニアス島橋梁復旧計画	2009年

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例		指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
持続可能な農業生産	生産基盤の整備・維持・保全・管理	土地利用と土壌保全	農地の開発・整備	運用指標	基本 開墾面積 (ha)	生産系の要素については、全国と州（その事業対象が存在する）のデータについても同じタイミングで確認しておくことが望ましい。  灌漑率については、雨季の補給灌漑率と乾季の灌漑率は分けて考えるべき。	・本計画は、マラウイの中で経済的に最も立ち後れたブワンジェバレー地域の農業開発構想に基づき、小規模農民参加自主運営型の灌漑開発として、灌漑施設を中心に（開墾や農村道路建設等を含め）農業及び社会基盤の整備を通して、計画地域内の小規模農家の生産性及び生活水準の向上をはかることを目的としていた。	マラウイ	ブワンジェバレー灌漑開発計画	1997年
				効果指標	基本 米の収量 (t/ha)					
		水管理	灌漑・排水施設の整備	運用指標	基本 灌漑率（その圃場に灌漑用水が届いている率） 受益面積 (Ha) 作物別作付面積 (Ha) 水利費徴収率 (%) 補助 水利組合組織化率 (%)		・カガヤン州の5郡において、灌漑施設の改修等を行うことにより、十分な灌漑用水の供給を通じた米の増産を図り、もって貧困削減に貢献すること。  ・排水施設（排水機、排水路）の容量不足と老朽化（機能低下）により氾濫被害を余儀なくされているタンチ地区（6,240ha）を対象として、排水機の更新及び増設、排水路の改修を行い、農業生産性の向上に資する。  ・本プロジェクトはシュクウェ灌漑システムの最上流部に位置する幹線水路の修復を行い、システム全体のボトルネックの解消を図るものとして実施された。  ・本計画により、対象地域に対する灌漑用水を安定供給し、灌漑面積が3,200haから4,368haに拡大することが見込まれた。また、施設の効率化及び適正規模のポンプ設置により、年間運営・維持管理費が約10%、単位面積当たりで35%低減することが見込まれた。さらに、高付加価値作物の作付面積拡大により、農業生産額（農家所得）を約18%増加させることを目標とした。	フィリピン	カガヤン灌漑施設改修計画	2003年
				効果指標	基本 主要農作物別生産高 (トン/年) 主要農作物別単収 (トン/Ha) 戸当たり農業粗収益額 (円/年/戸) 補助 戸当たり農業所得額 (円/年/戸) 単位面積当たりの維持管理費 (円/年/Ha)			ベトナム	タンチ地区農村排水改善計画	1998年
				運用指標	基本 水利組合組織化率 (%)			モザンビーク	シヨクエ灌漑システム改修計画（第1期）	2001年
				効果指標	基本 水利費の徴収率 (%)			エジプト	第三次上エジプト灌漑施設改修計画	2002年
（ソフトコンポーネントとして）水利組合組織化支援活動	運用指標	基本 水利組合組織化率 (%)	・首都プノンペンに近いメコン河、トンレサップ河及びバサック河の堤防沿いでは、1940年代より河川と直角に水路を掘削し、栄養分を含んだシルト質土壌を雨季の河川増水と共に導いて、後背地を農地として利用するコルマタージュと呼ばれる農業が行われており、カンボジアでも最も肥沃な畑作地帯を形成している。しかしながら、過去20数年に及ぶ内戦で、維持管理が行えず放置された結果、コルマタージュ灌漑施設の損傷、老朽化が著しく、十分な農業生産が出来ない状況となった。 そのため、本案件では当該地域のコルマタージュ灌漑施設の改修を行い、受益農民による施設維持管理体制を確立することにより、作付面積及び収量の増加を図るとともに、地域の安定した食糧確保や農家の生活水準改善を資することを目的とするものである。	カンボジア	カンダール州メコン河沿岸灌漑施設改善計画	1999年				
	効果指標	基本 水利費の徴収率 (%)								

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例		指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
持続可能な農業生産	研究・開発能力の向上	試験研究・技術開発の強化	試験研究機関の機材	運用指標	基本 実験用機材の稼働率 (%)		・中国の農業は、21世紀への持続可能な発展に向けて、①伝統的農業から近代的農業への転換、②粗放型経営から集約型経営への転換、③21世紀中には16億人にも達すると予測されている人口に対する食糧の安定確保などが求められている。このような状況の中、農業技術の確立を図るため、農業科学院において農業実用技術の研究開発及び普及能力を強化する。	中華人民共和国	日中農業技術研究開発センター機材整備計画	2000年
				効果指標	補助 試験・検査の報告書等の数					
活力ある農村の振興	食料流通・販売の改善	流通市場のハードインフラ整備	橋梁、フィーダー道路	運用指標	基本 マーケットまでの農産物の平均運搬時間 (分)		・ケソン州とオーロラ州間において、ウミライ川に橋梁を建設することにより、農地改革地域の安全で円滑な交通流の確保と物流の円滑化を図る。	フィリピン	第二次農地改革地域橋梁整備計画	2011年
				効果指標	基本 域内の物流の円滑化・増加による対象地域内の農家所得 農産物の運搬量の増加 補助 傷みやすい産品 (例えば果物、桃をイメージすると分かりやすい) の取扱量の増加 平均渡河時間 (秒) 河川増水・洪水災害に起因する年間交通途絶日数 (日/年) 農産物輸送能力の増大					
		農村道路の整備	農村道路整備機材、農村道路、橋梁	運用指標	基本 農村道路整備機材の稼働率 (%) 年平均日交通量 (台/日、台/12H) 補助 舗装耐荷重 (軸重) の増加 (t)		・ケソン州とオーロラ州間において、ウミライ川に橋梁を建設することにより、農地改革地域の安全で円滑な交通流の確保と物流の円滑化を図る。  ・農村道路整備機材を調達することにより、2006~2009年の3年間で東部6県に農村道路235km (農村道路161km・耕作道74km) の建設促進を図る。	フィリピン	第二次農地改革地域橋梁整備計画	2011年
				効果指標	基本 農村道路整備延長距離 (km) 年平均日交通量 (台/日、台/12H) 所要時間の短縮 (時間) 農産物の集出荷、農作業の効率化による農業収入 補助 走行費の節減 (時間、円 (及び現地通貨) /年) 平均走行速度の向上 (Km/H) 河川増水・洪水災害に起因する年間交通途絶日数 (日/年)					
						・農村道路整備機材を調達することにより、2006~2009年の3年間で東部6県に農村道路235km (農村道路161km・耕作道74km) の建設促進を図る。	ブータン	農村道路建設機材整備計画	2004年	
						・ニカラグア国全域において農道整備用建設機材を調達することにより、2005~2007年の3年間で全国278区間 (2,766km) の農道整備促進を図る。	ニカラグア	農道建設機材整備計画	2004年	
						・デサブ地域 (カブール市北の郊外地域) において、灌漑施設及び農村道路の整備を行うことにより、農業用水の安定的な供給および市場へのアクセスの改善を図る。なお、本事業は対アフガニスタン事業展開計画の「カブール首都圏開発」に位置づけられる。	アフガニスタン	カブール市郊外小規模灌漑施設・農村道路整備計画	2011年	

開発戦略目標	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	標準的な指標例		指標作成方針・方法	事業目標例 (プロジェクトのイメージ)	国名	案件名	実施年度
活力ある農村の振興	食料流通・販売の改善	備蓄体制の整備	備蓄・貯蔵倉庫の整備	運用指標	基本 食糧備蓄量 (Mt) 援助食糧の配給数 (世帯もしくは人数)		・本事業は、同国の穀倉地帯である北西部ボグラ県においてコメ用倉庫を建設することにより備蓄能力の増強を図り、もって全国を対象とした、災害時を含めた食糧の安定供給、食糧安全保障への貢献を行うことを目的とする。	バングラデシュ	食糧備蓄能力強化計画	2012年
	農村生活環境の改善	地方電化(*2)、給水施設の整備	農村給水井戸	運用指標	基本 給水人口 (人) 給水量 (m <sup>3</sup> /日) 補助 給水時間 (時間) 対象村落において新たに掘削される井戸の数 (本)		・本計画は、マラウイの中で経済的に最も立ち遅れたフワンジェバレー地域の農業開発構想に基づき、小規模農民参加自主運営型の灌漑開発として、灌漑施設を中心に農業及び社会基盤の整備を通して、計画地域内の小規模農家の生産性及び生活水準の向上をはかることを目的としていた。	マラウイ	フワンジェバレー灌漑開発計画	1997年
				効果指標	基本 給水率 (%) 補助 一人当たり給水量 (L/人・日)					
	農村住民の保健・教育水準の向上	保健・医療サービスの充実	農村道路整備機材、農村道路	運用指標	基本 農村道路整備機材の稼働率 (%)		・ニカラグア国全域において農道整備用建設機材を調達することにより、2005～2007年の3年間で全国278区間(2,766km)の農道整備促進を図る。	ニカラグア	農道建設機材整備計画	2004年
				効果指標	基本 農村道路整備延長距離 (km) アクセスが改善した保健センター数 補助 当該施設までのアクセス時間の短縮 (時間)					
	農村住民の保健・教育水準の向上	教育サービスの拡充	農村道路整備機材、農村道路、橋梁	運用指標	基本 農村道路整備機材の稼働率 (%)		・ニカラグア国全域において農道整備用建設機材を調達することにより、2005～2007年の3年間で全国278区間(2,766km)の農道整備促進を図る。	ニカラグア	農道建設機材整備計画	2004年
効果指標				基本 農村道路整備延長距離 (km) アクセスが改善した教育施設数 橋の開通による学校へ通学できる生徒数 補助 当該施設までのアクセス時間の短縮 (時間) 小学一年生の就学率及び修了率の改善						
						・ラパス県アチャカ地区において、基礎インフラ整備に必要な建設機械・車両・支援機材・調査機材・施設建設用機材の整備及び施工管理技術の指導を行うことにより、道路改修・橋梁建設・灌漑水路改修を図る。	ボリビア	ラパス県村落開発機材整備計画	2005年	

(\*2) 地方電化を行う無償案件があれば、指標を追加する。